

## 本学図書館が作る様々なデータベース

学術情報を広く集めて大きな飛躍を

奥 正敬

本誌巻頭の上野図書館長のお言葉にもあるように、本学図書館は学習図書館の機能と研究図書館の機能の上に、コンピュータ・システムとインターネットを活用した「情報発信型図書館」の機能を構築して、さらにその働きを高めようとしています。このため、一冊ごとの図書情報を蓄積したコンピュータ総合書誌データベースを充実させ、館内や学内での検索機能を高めると共に、一方では特徴的な収集分野や利用度が高い分野の資料を対象とした主題別書誌データベースを作成して、ホームページで公開しているのです。

そして、このデータベースは学生・教職員の皆様が自宅や学外から図書や資料の所蔵を検索するだけでなく、卒業生や一般市民の方々の生涯教育などにも広く活用されています。

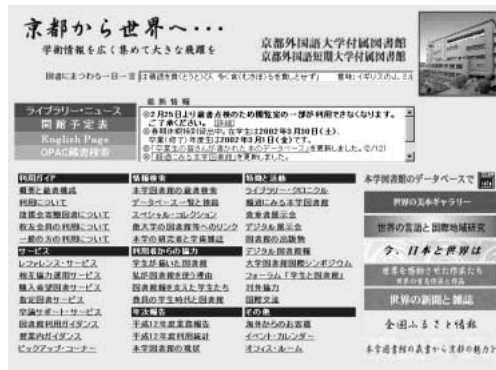
語学研究と地域研究を進めていただくために

ホームページで公開している語学研究と地域研究を支援するためのデータベースには、所蔵の貴重書を紹介する「本学図書館のスペシャル・コレクション」(27タイトル)をはじめ、一般図書を国と主題別に検索できる「世界の言語と国際地域研究」(50ヶ国)や各国の有名作家の作品を検索する「世界を感動させた作家たち」(14ヶ国)があります。これらは、本学図書館がニューセンチュリー・プロジェクトとして2001年から作りはじめたもので、検索対象となる国や作家などの収録数を順次増やしていくことを目標としています。

また、「世界の新聞と雑誌」は、本学図書館が継続購入している世界の有名な新聞と雑誌を紹介するものですが、学内からの利用に限りアメリカの電子ジャーナル「EBSCO」にも接続して、本学図書館に無い外国雑誌の記事を画面上から見られるようになっています。

授業に直結することを調べていただくために

教務部が発行する『講義概要』をもとにして作った「講義概要に示された参考文献」データベー



本学図書館のホームページ

スは、学習図書館としての機能を発揮するもので、予め図書館で収集している授業の参考文献が即座に検索できます。内容は授業の科目名と担当教員ごとに検索項目が作られており、万一、求める資料が貸出中の場合も、その資料がいつ返却されるかを表示します。こうしたことから、主に授業と関係するレポートや論文作成の資料集めに役立つものと考えています。

就職試験や資格試験を有利にいただくために

本学図書館は後援会より毎年一定の図書購入補助金をいただいております。学生の殆どの方が在学中に一度は必ず使うと思われる就職試験と資格試験問題集の最新版の購入に充当しています。この補助金で買われた図書の書誌データを収録する「就職試験・資格試験資料データベース」を本年度より初めて公開しており、これを大いに活用していただき、重要な試験に豊富な知識と自信を持って臨んでいただくことを願っています。

京都や故郷、全国の情報を知っていただくために

本学で勉強や研究をする学生の皆さんが、自分の大学のある京都の土地柄を知ることは大事なことです。このため、本学図書館では「京都から世界へ」と題した総合データベースをつくっています。この中には、京都に関することを検索できる「所蔵データベース京都」や、各国の言葉で翻訳された京都を舞台にした文学を紹介する「古都の雅をもとめて」、またデジタル貴重書展示会である「古都の心にふれた西欧の人たち」、さらには外国語で書かれた京都関係図書の書誌データを収録した「Kyoto in the world」の四つのデータベー